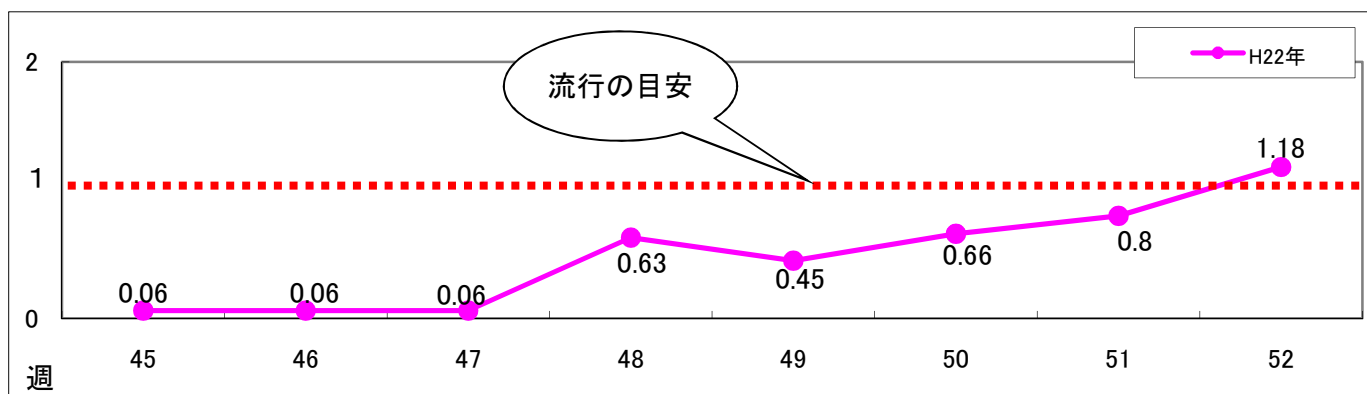


インフルエンザ流行シーズン入り ～感染予防に努めましょう～

平成22年第52週(12月27日～1月2日)の熊本県感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたり報告数が1.18(定点数/80カ所、報告数/94人)となりました。流行開始の目安とされている1.00を上回ったことから、インフルエンザが流行シーズンに入ったと考えられます。

正しい知識を身につけて、一人一人がしっかりとインフルエンザ対策を実行しましょう。(詳しくは裏面の県ホームページ掲載内容をご参照ください。)

○定点一医療機関あたりの患者報告数



○地域(保健所)別定点あたり患者報告数

	熊本	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県	全国
11/13～ 12/19	0.20	0.00	0.29	0.25	0.00	0.29	0.00	4.00	0.63	0.17	2.43	0.66	1.41
12/20～ 12/26	0.84	0.67	2.00	1.25	0.40	0.43	0.67	0.80	0.13	0.50	1.00	0.80	2.06
12/27～ 1/2	0.76	3.67	1.14	0.00	0.20	1.71	0.33	3.20	0.75	0.33	2.57	1.18	

■ は報告数が1.00を超えているもの

《参考》

厚生労働省ホームページ「インフルエンザに関する情報」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

熊本県ホームページ「新型インフルエンザ情報ホームページ」

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/influenzasub/>

(裏面あり)

連絡先 健康危機管理課
直通 096-333-2240
内線 7084、7082
(新型インフルエンザ対策班) 本田

インフルエンザの流行シーズンに入りました！

平成22年第52週（12月27日～1月2日）の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたり報告数（※）が県内で「1.18」となり、流行開始の目安とされている定点あたり1.00を上回りました。

県内でもインフルエンザの流行シーズンに入ったと考えられます。一人ひとりが感染予防を心がけましょう。

また、インフルエンザにかかった場合には人にうつさないようにすることも大切です。みんなで、インフルエンザの流行拡大防止に努めましょう。

（※）定点あたり報告数…あらかじめ選定された県内80医療機関（定点医療機関）を1週間に受診した患者数を80で割った数

【現在のインフルエンザ流行状況】

- ① 全国の流行状況としては、平成22年第50週（12月13日～12月19日）に定点あたり報告数が「1.41」と1.00を上回り、第51週（12月20日～12月26日）には「2.06」となりました。
- ② 今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA香港型が7割近くを占めていましたが、流行入りした第50週（12月13～19日）に昨シーズン流行した新型はA香港型の約3倍と逆転しています。
なお、本県でこれまでに検出されたウイルスはほとんどがA香港型ですが、今後新型が増えてくることも考えられます。

【インフルエンザはどんな病気？】

- ① 突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。
- ② 時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。
- ③ インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

- ① 流行時には人混みを避ける。
- ② 手洗い・うがいを習慣づける。
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る。
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

- ① 安静にし、十分な休養を。学校や職場へは無理して行かない。
- ② 早めに医療機関を受診して治療を受ける。
- ③ 水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。
- ④ 周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。
- ⑤ **せきエチケット**を守る。

※せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。